

軍歴

死 別 行 日 記

二三三

表 表 表



49

現任	所屬部隊	入國年月	官等級	内地進出年月日	戦地到着年月日	勤務ノ概要	發病(受傷)年月日	病名(受傷部位)	戦病(受傷)又ハ	戦後時ノ状況	死亡年月日時刻及場所
左	第三	一八一七	一等兵	昭和十九年三月	昭和十九年三月	海軍工廠勤務	昭和十九年七月	傷寒	傷寒	昭和十九年七月	昭和十九年七月

右 申 告

卷之五

6063

邦·海·陸

6064



書明證認現亡死 (邦海陸)

資料提供者		死者										
死に及ぶ方法		死に及ぶ原因	死に及ぶ場所	死に及ぶ日時	死に及ぶ区分	発病場所	発病時期	区分	本籍地	臨時居住所 (在留地)	部隊名	部隊番号
理認		遺骨及び遺物の処理	死に及ぶ原因 (傷病名)	死に及ぶ場所 (南洋群島ニアン島カオリナス)	死に及ぶ日時 (昭和19年7月23日)	死に及ぶ区分 (* 死ニ戦死)			内			第五根拠隊
係属のととに死											住所詳細	
知合郷人											西馬区地	
所住現											* 南	
(取調) 昭和19年浦賀上陸											種兵種役	
(署名) 氏名											海軍属	
											戦死の時 (死)	
											和	
											年	
											月	
											日	
											生	
											女	

死亡当時の状況及び参考資料
 昭和19年6月中旬に米軍アミエリの上陸同時には、
 一隊和軍も避難山中に入り、山中で生活
 中昭和19年7月23日山中に追いつめられ、
 日本人は米軍艦砲撃により一隊をセ
 んめつされ、
 本人は同隊で、彼の隊を知り合っていた、
 は昭和19年アミエリに、
 工用係と担当として、
 11年春、
 岩場(カ)と岩場)をやって、
 のは、
 乙、

戰破者確證報告書

戦死者

第三三設営隊

戦死時刻

于三ノ島力尽つた三ノ島要撃隊を以て戦死

戦死日時

昭和九年七月二七日

左通、戦破確證、尤事ヲ而報告反御証

明仕り候也

九思三三三

有証明者

戦死者報告書

人事部長 紋

三月十八日

戦没者雄膏報告書

第三三號區隊

戦没者

戦没者

戦没者

于三ノ島マルボ各ニテ敵艦砲撃ヲ行ハシ戦死ス
昭和九年七月二十七日午後三時頃

此ノ通り戦没雄膏ナル事ヲ御報告及御記
明仕ル候也

一九四一年三月九日

石田明者

東京地方後援局

人事部長 殿

一、

陳朝魏文青 年 報吉

并屬十三歲 歲次 庚子 九月 廿九日

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

敬啟者

宣統元年十月廿五日

前為第五號信條正不似主事

卷

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

一、敬啟者

宣統元年十月廿五日

致及右

區區致致青

新嘉坡三區致致青

致致青 昭華九年七月十八日

致致青 子子子子子

致致青 彈藥運抵中爆擊力受即死

致致青 直其人存完

致致青 昭華九年五月九日

及勝致青

致致青 其人存完

致致青

軍府政務處

並為二三改

重刊本

昭和十九年七月二十日

丁巳年七月

總政務處

並為二三改

昭和十九年七月

重刊本

軍府政務處

重刊本

重刊本

聖恩所及者 什 取 吉

開元三年三月三日 聖恩所及者 什 取 吉

昭武十九年八月十九日

于二月三日

彈藥運旅作堂中深要。這分即死

運軍運旅作堂中深要。這分即死

昭武十九年八月十九日

無事

昭武十九年八月十九日

履歴につぎの証明書

本籍地

氏名

年 月 日生

昭和八年九月

会社に入用

昭和八年九月十三日

中部太平洋に向ふため横浜港出発(航港丸)

昭和八年九月二十四日

フィリピン島着 上陸

尔后フィリピン島に於て農作(砂糖栽培)

昭和十年

自立のため大工を副業(自営)

昭和十七年

南洋へサイパン支庁フィリピン出張所に勤める

(月給をフィリピン出張所より支給されてゐた)

学校の日暮

(興印刷)

昭和十九年六月十一日

本人にテニヤン島、テニヤン島、今、片断に本人が
軍々属となり、サイパンに行くかも知れないと
云う事だ

昭和十九年七月二日

敵米軍、テニヤン島上陸（本人は当時オニ飛行場
付近）

昭和十九年七月十九日

カワリナス山の洞窟に於て生死不明戦死を推定
(確実)

右者は私と同時に
会社に採用になり同行動に
もろく確実であることと証言する

昭和三十三年六月二十日

二一八八日

一戦死者

戦死者確實報告書
第三三號

一戦死場所

テニカノ島カレナヒノ山攻撃隊参加戦死

一戦死日時

昭和十九年七月二十九日

板橋廣太郎
御報告及御証明
付し候也

一九四六年三月二日

板橋明彦

東京地方検査局

人事部長殿

参見第八日

戦歿者確数報告書

戦歿者

第三三設営隊

戦歿地

テニノ島和三基飛行動三ノ敵陣ヨリ戦死

戦歿日時

昭和十九年七月二十九日午後七時

九ノ通ノ戦死確数テ儿コトヲ御報告及御託

明仕テ候也

一九四六年九月九日

有田明孝

青島地方復興局

人事部長 殿

敬告

軍民政府 牛車水

新嘉坡三巴旺區公所主席

敬啟者

照得十八日多也月五午五時

敬啟者

于二月間東來海濱

敬啟者

中隊長命令三度擊中敵死

敬啟者

三度擊中敵死

敬啟者

三度擊中敵死

敬啟者

三度擊中敵死

敬啟者

三度擊中敵死

敬啟者

三度擊中敵死

敬啟者

三度擊中敵死

敬啟者

三度擊中敵死

敬啟者

三度擊中敵死

敬啟者

三度擊中敵死

陸

6073

陸・海・邦

6079

邦·海·陸

[illegible]

萬國記載上の注意をしておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)